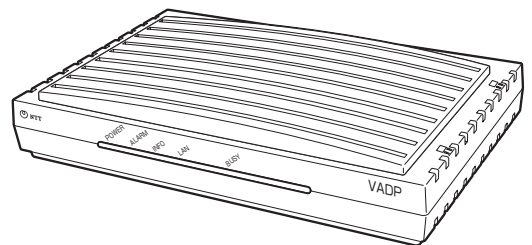


映像アダプタ 取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティシステム
αNX映像アダプタをお買い求めいただきまし
て、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお
読みのうえ、内容を理解してからお使いくだ
さい。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどい
つも手もとに置いてお使いください。








安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音、録画などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを取扱説明書の消去方法（P8）にしたがって消去する必要があります。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本商品の取り扱いについては、本書とともに必ず、ネットコミュニティシステムαNXシリーズの取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 本商品の取り扱いについては、本書とともに必ず、ご使用のパソコンの取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は本商品にてご確認ください。また、機能向上のため画面は予告なしに変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

* Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

* FOMA は、株式会社 NTT ドコモ の登録商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

なお、本文中に™、®マークは明記しておりません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

警告

- 本商品、電源プラグ、接続ケーブルのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品、電源プラグ、接続ケーブルに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源プラグ、接続ケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
 - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
 - ・ 湿気が多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
 - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
 - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- 本商品の底面部は、温度が上昇しますのでカーペット・ソファーなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ・ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
 - ・ 振動、衝撃の多い場所。
- 本商品を壁掛け設置する場合は、専用の取り付け金具によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。
- 万一漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
 - アース線が取り付けられるところは次の部分です。
 - ・ 電源コンセントのアース端子
 - ・ 銅片などを65 cm以上、地中に埋めたもの
 - ・ 接地工事（D種）が行われている接地端子
 - 次のようなところには絶対アース線を取り付けしないでください。
 - ・ ガス管
 - ・ 電話専用アース線
 - ・ 避雷針
 - ・ 水道管や蛇口

お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて



- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落したり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、本商品内部に水などの液体が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落したりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。
- 本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- 本商品や電源プラグ、接続ケーブルに水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグ、接続ケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源は、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください



- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- お客様による本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 本商品の電源コードや接続ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると本商品の電源コードや接続ケーブルが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや接続ケーブルが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品の電源コードや接続ケーブルが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品や本商品の電源コードや接続ケーブルを熱器具に近づけないでください。キャビネットや本商品の電源コードや接続ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品をお手入れするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充填すると、火災・感電の原因となることがあります。

 **警告**

- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、本商品の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。
 - ・ 本商品を仰向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・ 本商品を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
 - ・ 本商品をじゅうたんや布団の上に置く。
 - ・ 本商品にテーブルクロスなどをかける。
 - ・ 本商品の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。

- 近くに雷が発生したときは、電源コード、LANケーブルを抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

- お客様でご用意された機器を接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

- 医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

- 本商品を移動するときは、電源プラグ、接続ケーブルを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグ、接続ケーブルが差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

 **注意**

- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP お願い

- 電源を再度入れる場合は、電源を切った状態から5秒以上たつたあとに行ってください。
- 使用中は電源を切らないでください。設定変更中やバージョンアップ中に電源を切ると、回復不能な故障の原因になることがあります。
- 本商品の電源プラグを抜いたままにしないでください。本システムが使えません。
- 本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

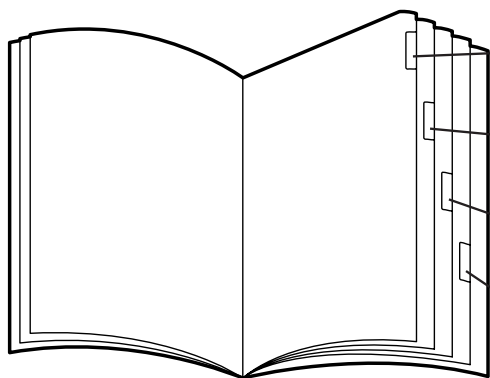
廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを下表にしたがって消去する必要があります。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
すべての設定データ	本商品を初期化してください。（●P43）
すべての録画データ	蓄積映像の初期化を行ってください。（●P43）

この取扱説明書の見方

この取扱説明書の構成



- 1 お使いになる前に**
お使いになる前に知っておいていただきたいことや、用途別索引などをまとめています。
- 2 映像を操作する**
FOMAやアドバンスIP電話機、ソフトフォンで操作する方法について説明しています。
- 3 Web設定を行う**
Webブラウザを使ってパソコンから本商品を設定する方法を説明しています。
- 4 ご参考に**
故障かな?と思ったときの確認方法や保守サービスなどについて説明しています。

※ 本商品をご利用になるには、主装置の設定が必要です。「用途別索引」(P12)をご覧ください。主装置の取扱説明書をお読みください。

操作説明のページの構成

章タイトル

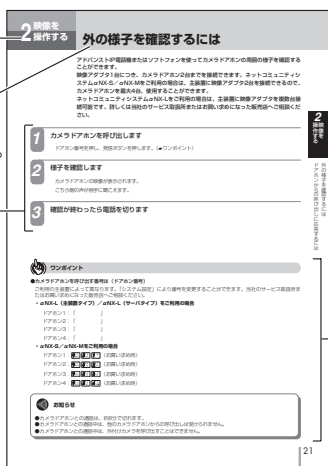
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明

順番に操作を説明しています。



ワンポイント/お願い/お知らせ

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示します。

〈お願い〉

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

〈お知らせ〉

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
この取扱説明書の見方	9

1 お使いになる前に

システム概要	11
用途別索引	12
セットを確認してください	14
各部の名前とはたらき	15
設置と接続について	17

2 映像を操作する

映像を操作するには	18
必要な準備について	18
FOMAでの遅延応答について	18
映像の保存について	19
ドアホンからの呼び出しに応答するには	20
電気錠について	20
外の様子を確認するには	21
外付けカメラを使う	22
映像を再生／削除／保護するには	23
映像を再生する	23
映像を削除する	25
映像を保護する／未保護とする	26

3 Web設定を行う

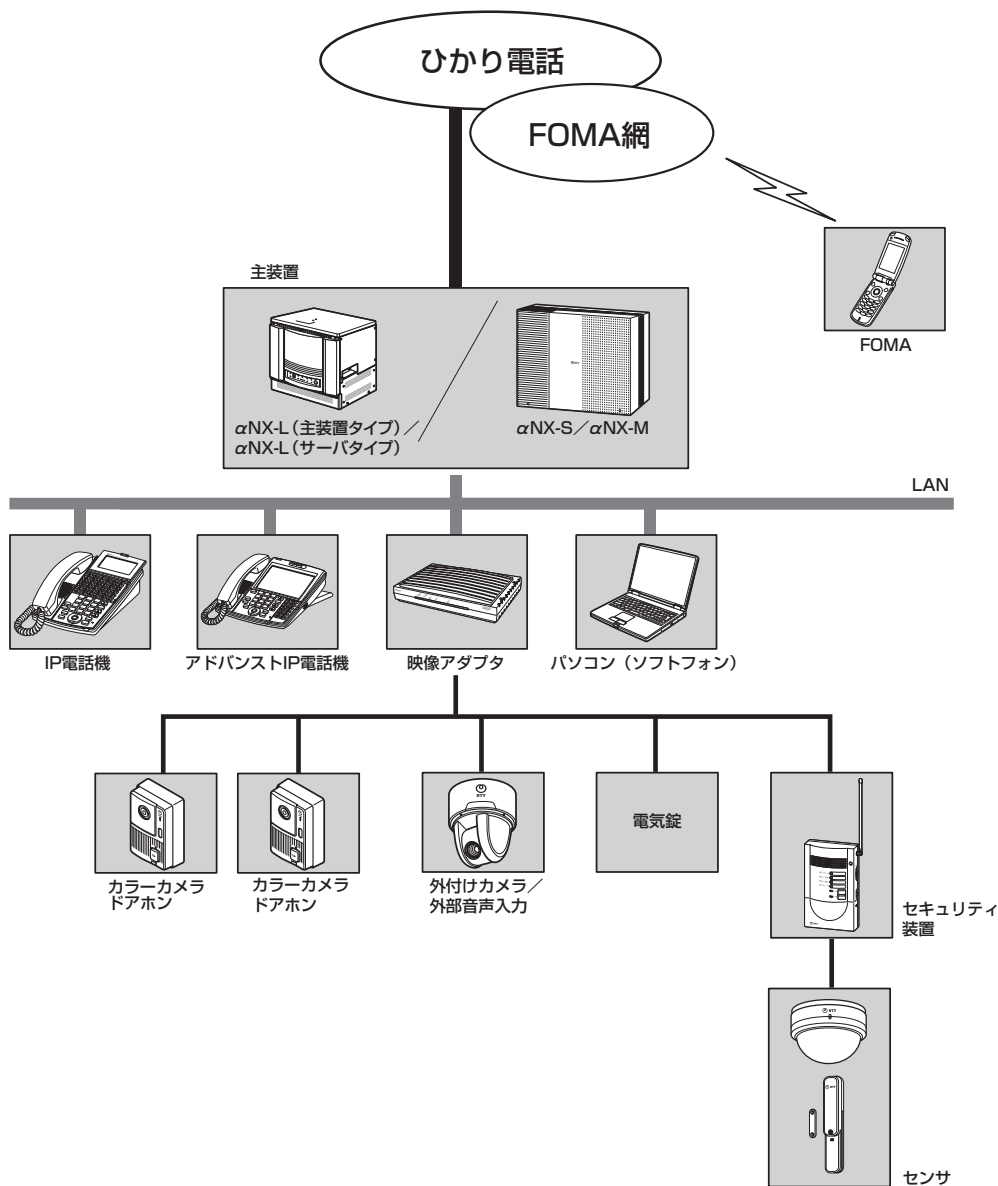
パソコンを接続するには	27
映像アダプタ設定を行うには	28
映像アダプタメニュー一覧	29
ユーザ用ID／パスワードを設定するには	30
蓄積映像を操作するには	31
映像を保護／保護解除する	31
映像を消去する	31
保存領域の状態を確認するには	32
現在の状態を確認するには	33
状態のログを確認するには	34
動作のログを確認するには	35
Webブラウザから手動で更新するには	36
ローカルでファームウェアを更新するには	37
蓄積映像の全初期化を行うには	38
状態ログをダウンロードするには	39
動作ログをダウンロードするには	40
再起動を行うには	41

4 ご参考に

停電になったときは	42
映像アダプタをお買い求めのときの	
状態に戻すには	43
故障かな？と思ったら	44
索引	46
仕様	48
保守サービスのご案内	49

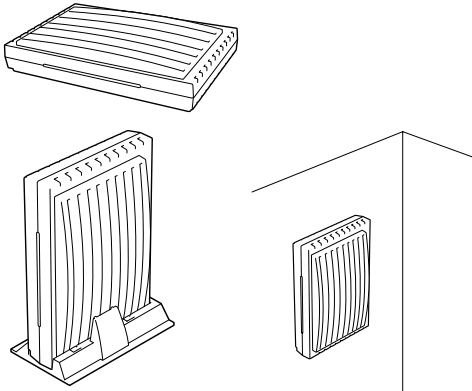
システム概要

本商品は、主装置、カラーカメラドアホンと組み合わせ、来訪者の映像をアドバンスIP電話機やソフトフォンで表示したり、映像を保存するための装置です。主装置であらかじめFOMAへの転送を設定しておけば、来訪者の映像をFOMAで確認することもできます。



■設置する

横置きで設置するほか、縦置き、または壁に取り付けることができます。



■接続する

本商品を主装置やカメラドアホンと接続し、電源を入れてランプ表示を確認します。

- 本商品を接続する ●P17

■電気錠を施錠／解錠する

主装置からの信号を受け取ると、接続された電気錠を施錠／解錠することができます。

- 電気錠を操作する ●P20

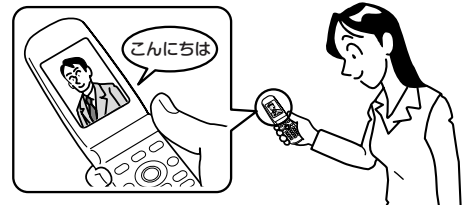
■セキュリティ装置を接続する (α NX-S/ α NX-M主装置のみ)

セキュリティ装置（警戒センサ+セキュリティ受信機）を接続することにより、警戒センサが侵入者を検知したときに通報が行われるセキュリティサービスを利用することができます。

■カメラドアホンからの呼び出しに 応答する

カメラドアホンからの呼び出しに応答し、来訪者と通話します。

- 電話機による操作 ●P20
- FOMAで操作するために必要な準備 ●P18
- FOMAで操作する ●P20



■ 外の様子を確認する

カメラドアホンまたは外付けカメラを呼び出して、周囲の様子を確認することができます。

- 電話機による操作 ●P21

■ カメラドアホンの映像を録画する

主装置の設定により、カメラドアホンのボタンが押されてから自動的に録画されるように設定することができます。電話機では、映像を手動で保存することもできます。

- 電話機による操作 ●P19
- 自動保存の設定を変更する（自動保存動作、保存開始タイマ時間、保存時間） ●P19

■ 映像を再生／削除する

保存されているカメラドアホンの映像を、再生、削除できます。

- 電話機による操作 ●P23
- 蓄積映像を操作するには ●P31

■ ファームウェアを更新する

本商品は、自動で重要なファームウェアの更新を行うようにお買い求め時「システム設定」にて設定されています。通常ファームウェアはお買い求め時、自動更新は無効に設定されています。手動でファームウェアを更新することもできます。

- 手動でファームウェアの更新を行う ●P36

■ 各種のデータを管理する

状態ログや動作ログを確認することができます。本商品に保存されている蓄積データを消去することもできます。

- 映像アダプタ設定を行うには ●P28

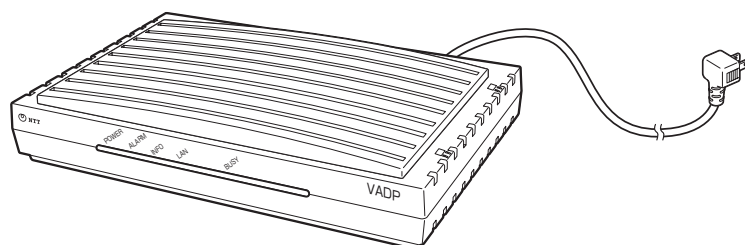


お知らせ

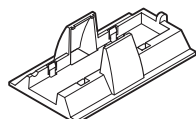
- FOMAを利用して応答し、外の様子を確認する場合は、ひかり電話オフィスタイプ（フレッツ 光ネクスト）のご契約が必要です。（付加サービス「テレビ電話」の申し込みも必要となります。）
- FOMAで操作する場合、一部のテレビ電話未対応機器、およびプッシュ信号送出未対応の機器はご利用になれません。またテレビ電話の設定によってはプッシュ信号を出す機能が使えなくなっていることがあります。事前に設定を変更してください。
- お客様が本商品を利用して映像や音声を録画、録音をする際は、プライバシー等にご配慮ください。
- 本商品のセキュリティ装置接点入力端子に接続し、セキュリティ装置からのセンサ検知信号を受信して主装置へ通知する機能については、主装置と組み合わせて電話機から威嚇音を流したり、通知先への発信を行ったりする機能であり、災害を防止する機能ではありません。万一、事故・災害が発生した場合でも当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

セットを確認してください

■本体



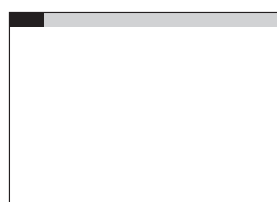
■付属品



据え置き台
(1個)



壁掛け用品
(1式)



取扱説明書ダイジェスト
(1部)



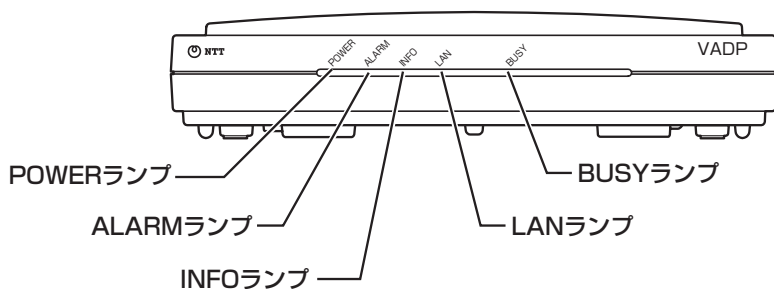
CD-ROM
(1枚)

- 保証書 (1枚)
- NTT通信機器お取扱相談センターシール (1枚)

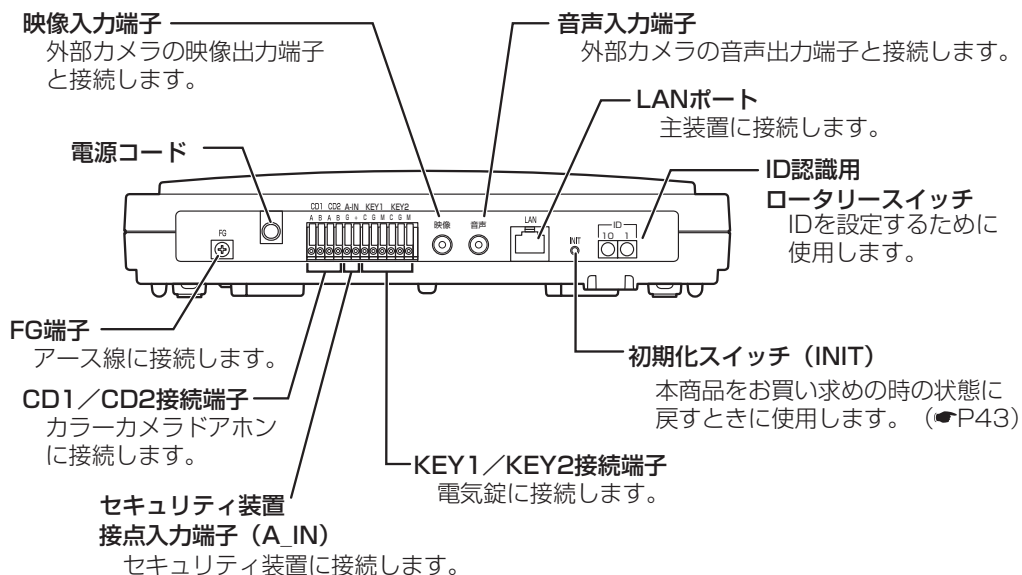
●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

各部の名前とはたらき

【前面】

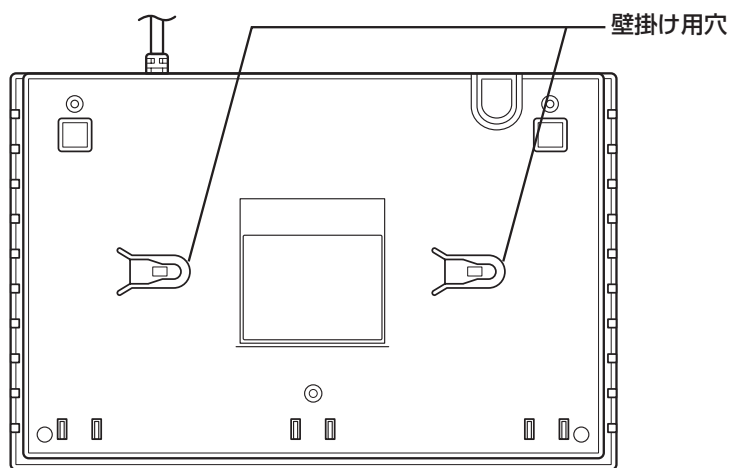


【背面】



各部の名前とはたらき

【底面】



【ランプ表示】

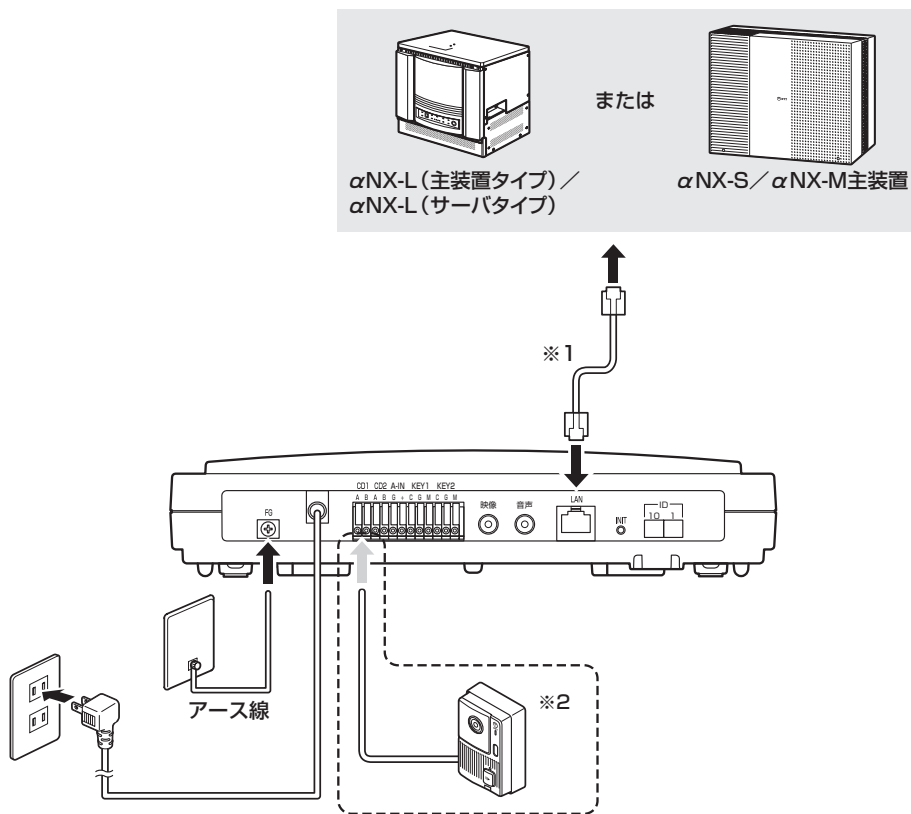
ランプの種類	ランプのつき方（色）	本商品の状態
POWERランプ	点灯（緑）	電源が入っている
	消灯	電源が切れている
ALARMランプ	点灯（赤）	映像アダプタの活性化に失敗、または主装置との通信が途切れた
	点滅（赤）	映像アダプタのエラー
	消灯	正常な状態
INFOランプ	点灯（緑）	システムが正常に動作している状態
	速い点滅（緑）	映像アダプタの起動中
	遅い点滅（緑）	更新ファームウェアのダウンロード中
	消灯	主装置と通信していない状態
LANランプ	点灯（緑）	100Mbpsでリンク状態
	点滅（緑）	100Mbpsでデータ送受信状態
	点灯（橙）	10Mbpsでリンク状態
	点滅（橙）	10Mbpsでデータ送受信状態
	消灯	非リンク時
BUSYランプ	点灯（緑）	映像アダプタの機能が使用中状態

設置と接続について

最初に設置される場合、外付けカメラやセキュリティ装置等のオプションを増設される場合は当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

1
前
に
お
使
い
に
な
る
設
置
と
接
続
に
つ
い
て
各
部
の
名
前
と
は
た
ら
き

■接続例



※1 主装置のLANポートが足りない場合はαNX給電HUBなどを介して主装置と映像アダプタを接続してください。

※2 接続については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

STOP

お願い

- お手入れする際、ケーブルを外す場合は当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- ID認識用のロータリースイッチは絶対に回さないでください。

映像を操作するには

カメラドアホンからの呼び出しに、アドバンスIP電話機やソフトフォン、FOMAで応答することができます。また、保存した映像を再生したり削除したりすることもできます。

必要な準備について

●FOMAで操作するには

FOMAでカメラドアホンに反応したり、映像の手動保存開始などの操作をするには、FOMAからプッシュ信号を送出する必要があります。プッシュ信号を送出する方法については、FOMAの取扱説明書を参照してください。

※一部のテレビ電話未対応機器、およびプッシュ信号送未対応の機器はご利用になれません。

●FOMAでカメラドアホンに反応するには

カメラドアホンからの呼び出しにFOMAで反応するには、あらかじめドアホン転送の設定が必要です。

αNX-S/αNX-M主装置をお使いの場合：

主装置の取扱説明書『カメラドアホンからの呼び出しにFOMAで反応する』

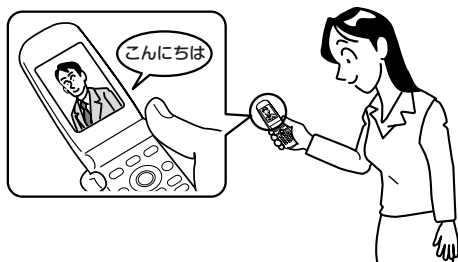
αNX-L主装置をお使いの場合：

当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

また、FOMAでテレビ電話反応するには、ひかり電話オフィスタイプ（フレッツ 光ネクスト）のご契約が必要です。（付加サービス「テレビ電話」の申し込みも必要となります。）

FOMAでの遅延応答について

カメラドアホンからの呼び出しにFOMAで反応すると、応答側の画面にカメラドアホンの映像が映ります。このとき、応答側の声は相手に聞こえません。映像で来訪者を確認した後、ボタン操作を行うことにより、通話できる状態に切り替えられます。



通話できる状態に切り替えなかった場合は、約1分で切断されます。



お知らせ

- カメラドアホンの転送先端末はネットコミュニティシステムαNXシリーズの映像端末（アドバンスIP電話機やソフトフォン）、もしくは、FOMA端末に限ります。
- FOMA端末は機種によっては正しく映像表示されないこともあります。

映像の保存について

●自動保存について

主装置の設定により、カメラドアホンからの呼び出しがあると、カメラドアホンの映像を自動的に保存することができます。また、留守などで応答が行われなかったときだけ映像を保存するように設定することもできます。

外付けカメラでも主装置の設定により、セキュリティサービスに連動して外付けカメラの映像を自動的に保存することができます。(αNX-S/αNX-M主装置のみ)

主装置の設定により、録画開始のタイミングや保存する映像の秒数を変更することができます。

●手動保存について

カメラドアホンと電話機との通話中に、電話機を操作することによって映像を保存することができます。

また、外付けカメラと電話機の通話中に、電話機を操作することによって映像を保存することができます。

なお、電話機で保存操作を行った場合、録画終了後の約5秒間（映像の保存中）は、次の保存操作が遅延することがあります。

なお、手動保存に対応している端末はアドバンスIP電話機およびソフトフォン、FOMAのみです。

●保存できる画像の容量について

保存できる映像の上限値の目安は以下の通りです。

映像サイズ	1件における最大録画時間	全体での最大録画件数
QCIF	約10秒	100件
QVGA	約10秒	100件

なお、手動保存時に保存容量が不足している場合は「ピピピピピピ」と鳴り映像は保存されません。

●保護について

自動保存される映像データの保護／未保護については、映像通信開始時に主装置より「保護」／「未保護」が指示されます。

映像データの保護／未保護を操作できる端末はアドバンスIP電話機およびソフトフォンのみです。

○映像を保護する／未保護とする ●P26

○映像を保護／保護解除する ●P31

●保存する内容について

カメラドアホンにおいて保存されるデータは、映像とカメラドアホン側の音声となります。

外付けカメラにおいて保存されるデータは、外付けカメラの映像と音声入力端子側の音声となります。



お知らせ

- ご使用のカメラドアホンによっては、夜間などカメラドアホン側が暗いときに白黒映像になります。
- 自動保存、手動保存ともに保存開始直後に保存停止操作を行った場合、蓄積映像データの準備不足により、「ピピピピピピ」と鳴り映像が保存されない場合があります。
- αNX-S/αNX-M主装置でセキュリティサービスをご利用の場合、セキュリティ自動録画設定の「自動録画開始タイム登録」を初期値（0秒）から変更しないでください。変更された場合、セキュリティ自動録画設定の「自動録画時間」で設定された録画時間どおりに保存されないことがあります。

ドアホンからの呼び出しに応答するには

アドバンスIP電話機やソフトフォン、FOMAを使って、カメラドアホンの呼び出しに応答することができます。

FOMAでは、カメラドアホンの映像を確認した後、プッシュ信号を送出してリモート操作することにより、通話できる状態になります。

1 応答操作をします

●アドバンスIP電話機で応答するときは

カメラドアホンからの呼び出しがあると、チャイム音が鳴って内線ランプが点滅し、カメラドアホンの映像が表示されます。

ハンドセットを上げてお話しします。詳しくはアドバンスIP電話機の取扱説明書を参照してください。

●ソフトフォンで応答するときは

映像着信の応答操作を行います。詳しくはソフトフォンの取扱説明書を参照してください。

●FOMAで応答するときは

①テレビ電話の応答操作をします

カメラドアホンの映像が表示されます。こちら側の声は相手に聞こえません。相手の映像が表示されるまでに、約10秒かかります。

②音声ガイダンスに従って0を押します

「ピーピー」という音が聞こえたら、テレビ電話で通話できる状態になります。

2 お話が終わったら電話を切ります



ワンポイント

●FOMAからプッシュ信号を送出するには (P18)

●カメラドアホンの映像を確認後、お話しせずに電話を切るには
通常と同じように、電話を切る操作をします。



お知らせ

- カメラドアホンとの通話は、約8分で切れます。
- カメラドアホンとの通話中は、他のカメラドアホンからの呼び出しは受けられません。
- カメラドアホンとの通話中は、外付けカメラを呼び出すことはできません。
- 映像に対応していない端末では、音声のみの応答になります。

電気錠について

本商品に電気錠操作盤、電気錠とドアホンを接続すると、電気錠を施錠／解錠することができます。(主装置の取扱説明書『αNX-S/αNX-M主装置をお使いの場合「電気錠」』『αNX-L主装置をお使いの場合「電子錠」])

詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

外の様子を確認するには

アドバンスIP電話機またはソフトフォンを使ってカメラドアホンの周囲の様子を確認することができます。

映像アダプタ1台につき、カメラドアホン2台までを接続できます。ネットコミュニティシステムαNX-S/αNX-Mをご利用の場合は、主装置に映像アダプタ2台を接続できるので、カメラドアホンを最大4台、使用することができます。

ネットコミュニティシステムαNX-Lをご利用の場合は、主装置に映像アダプタを複数台接続可能です。詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

1 カメラドアホンを呼び出します

ドアホン番号を押し、発信ボタンを押します。(●ワンポイント)

2 様子を確認します

カメラドアホンの映像が表示されます。
こちら側の声が相手に聞こえます。

3 確認が終わったら電話を切ります



ワンポイント

●カメラドアホンを呼び出す番号は（ドアホン番号）

ご利用の主装置によって異なります。「システム設定」により番号を変更することができます。当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

●αNX-L（主装置タイプ）/αNX-L（サーバタイプ）をご利用の場合

ドアホン1：「 」

ドアホン2：「 」

ドアホン3：「 」

ドアホン4：「 」

●αNX-S/αNX-Mをご利用の場合

ドアホン1： （お買い求め時）

ドアホン2： （お買い求め時）

ドアホン3： （お買い求め時）

ドアホン4： （お買い求め時）



お知らせ

- カメラドアホンとの通話は、約8分で切れます。
- カメラドアホンとの通話中は、他のカメラドアホンからの呼び出しは受けられません。
- カメラドアホンとの通話中は、外付けカメラを呼び出すことはできません。

外付けカメラを使う

外付けカメラを本商品に接続している場合は、外付けカメラの周囲の様子を確認することができます。なお、外付けカメラを利用できる端末はアドバンスIP電話機とソフトフォンのみです。映像アダプタ1台につき、外付けカメラ1台を接続できます。



ワンポイント

●外付けカメラを呼び出す番号は

ご利用の主装置によって異なります。「システム設定」により番号を変更することができます。当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

●αNX-L（主装置タイプ）／αNX-L（サーバタイプ）をご利用の場合

外付けカメラ1：「 」

外付けカメラ2：「 」

●αNX-S／αNX-Mをご利用の場合

外付けカメラ1：    （お買い求め時）

外付けカメラ2：    （お買い求め時）

●外付けカメラ映像の保存について

外付けカメラと電話機との通信中に、電話機を操作することによって、映像を保存することができます。（☛P19）

●音声をモニタするには

音声入力端子に外部カメラの音声出力端子を接続すれば、音声をあわせてモニタすることができます。

●セキュリティサービスを利用するには

αNX-S／αNX-Mをご利用の場合は、セキュリティサービスで外付けカメラを利用することができます。（☛αNX-S／αNX-M主装置の取扱説明書『セキュリティサービスを利用するには』）

映像を再生／削除／保護するには

アドバンスIP電話機またはソフトフォンを使って映像アダプタ内の映像を各種操作することができます。

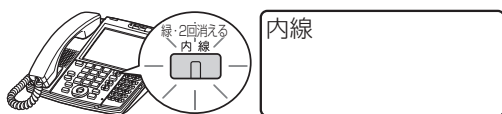
映像アダプタに保存されている映像の再生や削除をしたり、削除できないように保護を設定したりすることもできます。

ここでは、アドバンスIP電話機の操作を説明します。ソフトフォンの操作は、ソフトフォンの取扱説明書を参照してください。

映像を再生する

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します

「ツーツー」という音を確認してください。



2 映像再生用の特番を押します (ワンポイント)

再生モード選択画面が表示されます。

3 再生対象を選択します (ワンポイント)

1 ^あ ~ **4** ^あ ^{OH} を押して再生対象を指定する

- 1: 全映像再生
- 2: ドアホン1映像再生
- 3: ドアホン2映像再生
- 4: 外付けカメラ映像再生

4 再生対象を選択します

1 ^あ : 録画順にすべての保存映像を再生する

2 ^あ ^{ABC} : 録画順に未再生映像を再生する

- 1: 全蓄積映像再生
- 2: 未再生映像再生

0: モード選択画面へ

手順3の画面に戻るときは **0** ^あ ^{OH} を押します。

5 再生された映像を見ます (ワンポイント)

1 ^あ : 再生中の前の映像を再生します

3 ^あ ^{DEF} : 再生中の次の映像を再生します

12月19日 12時11分
001/010件
1: 戻る 3: 次へ
5: 保護切替 * : 削除

手順3の画面に戻るときは **0** ^あ ^{OH} を押します。

6 終了するときは、スピーカボタンを押します



ワンポイント

●映像再生用の特番と映像サイズ

カメラドアホンや外付けカメラの録画映像サイズは、ご利用の主装置の「システム設定」で設定されます。また、再生用の特番は、ご利用の主装置、アクセスする映像アダプタおよび録画されたサイズ（QCIF：小／QVGA：大）によって異なります。

・αNX-L（主装置タイプ）／αNX-L（サーバタイプ）をご利用の場合

主装置の「システム設定」により番号を変更することができます。当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

映像サイズ	特番
QCIF	[]
QVGA	[]

・αNX-S／αNX-M主装置をご利用の場合

対象	録画サイズ	特番（お買い求め時）
映像アダプタ1	QCIF	9 <small>0</small> WXYZ 7 <small>0</small> PQRS 1 <small>0</small> 1 <small>0</small> []
	QVGA	9 <small>0</small> WXYZ 7 <small>0</small> PQRS 1 <small>0</small> 2 <small>0</small> ABC []
映像アダプタ2	QCIF	9 <small>0</small> WXYZ 7 <small>0</small> PQRS 2 <small>0</small> ABC 1 <small>0</small> []
	QVGA	9 <small>0</small> WXYZ 7 <small>0</small> PQRS 2 <small>0</small> ABC 2 <small>0</small> ABC []

●蓄積映像再生を行えない場合

蓄積映像を書き込んでいる場合など蓄積映像を再生できないときに、手順2の操作を行うと「他者使用中です。しばらくお待ちください」と表示されます。しばらくお待ちになるか、しばらくしてから、もう一度操作してください。蓄積映像が再生できるようになると、自動で再生モード選択画面へ遷移します。

●特番で選択された録画映像サイズの再生可能映像がない場合

手順4の操作を行うと「再生できる映像がありません」と表示されます。選択した録画サイズとは異なるサイズで録画されている映像を再生したい場合は、一度映像再生を終了し、特番を変更して再度手順1の操作からやり直してください。

●蓄積映像がない場合

手順4の操作を行うと「蓄積映像がありません」と表示されます。



お知らせ

- 映像再生中は、音声スピーカから聞こえます。
- 同一の映像アダプタで他の機能が動作している場合、映像の再生は行えません。
- 映像再生後、次に再生する情報がない場合、映像は変わりません。
- 映像データの読み込み中のキー入力は、無効になります。
- 映像再生は1件ごとに行います。次の映像再生を行う場合は「3：次へ」を選択してください。

映像を削除する

1 削除する映像の再生中に、「* : 削除」を選択します

12月19日 12時11分
001/010件
1:戻る 3:次へ
5:保護切替 * :削除

2 「1 : はい」を選択します

削除しますか
削除は時間がかかりま
す
1:はい 2:いいえ

削除中です
少しお待ちください

3 削除が完了します

削除しました

0:モード選択画面へ

保存されている映像がある場合は、削除が完了して一定時間が経過すると、次の映像が表示されます。
モード選択画面へ戻るときは、削除完了後、**[0]**を押します。



お知らせ

- 映像の削除実行中は、映像の自動保存と手動保存に遅延が発生します。
- 映像の削除には時間がかかることがあります。その場合、画面の指示どおり、そのまましばらくお待ちください。
- 消去中には本商品の電源を切らないでください。

映像を保護する／未保護とする

●保護を設定する

1 保護する映像を再生中に、「5：保護切替」を選択します

12月19日 12時11分
001/010件
1:戻る 3:次へ
5:保護切替 *:削除

●保護を解除する

1 保護を解除する映像を再生中に、「5：保護切替」を選択します

12月19日 12時11分
001/010件 保護
1:戻る 3:次へ
5:保護切替 *:削除



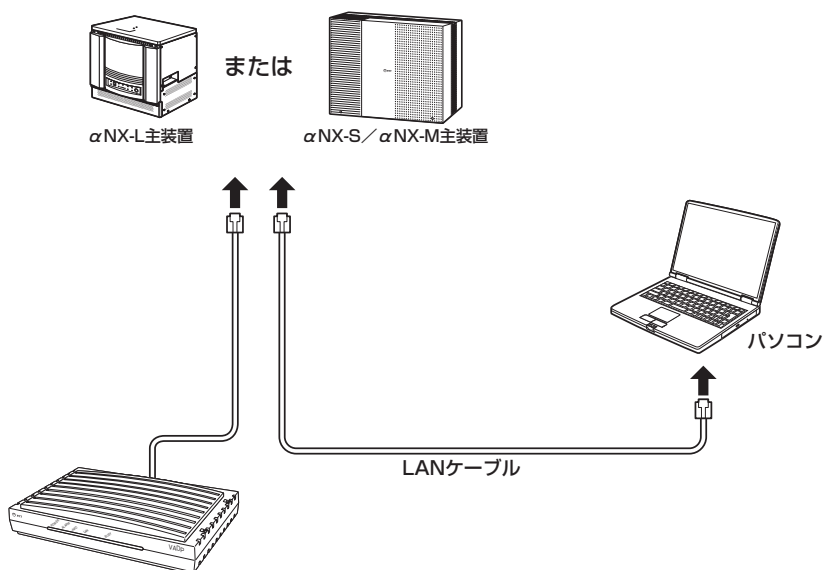
お知らせ

- 保護された映像は削除できません。保護解除してから削除を行ってください。
- αNX-S／αNX-Mをご利用の場合、保護を設定／解除中に新たにドアホン着信またはドアホン呼び出しまたは外付けカメラ呼び出しがあると再生中の映像が切断され、ドアホン着信またはドアホン呼び出しまたはカメラ呼び出しとなります。その場合、保護／保護解除が無効となることがあります。

パソコンを接続するには

Web設定を行うために、映像アダプタとパソコンを接続します。

主装置のLANポートとパソコンのLANポートを市販のLANケーブルで接続します



1

2
映像を
操作する

3
Web設定を
行う

パソコンを接続するには
映像を再生／削除／保護するには



ワンポイント

●主装置のLANポートが足りないときは (P17)

●Web設定を行う前に

本商品のWeb設定を行うパソコンは次の条件を満たす必要があります。

OS	Windows XP (SP2) / Windows Vista
ブラウザ	Internet Explorer 6 (SP2) 以降 / Internet Explorer 7.0以降 (2008年10月現在)

※Windows Vistaは、Windows Vista Home Basic、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business およびWindows Vista Ultimate の各日本語版かつ32ビット (x86) 版の略です。

※Windows XPは、Microsoft Windows XP Home Edition operating system およびMicrosoft Windows XP Professional operating system の略です。

映像アダプタ設定を行うには

Webブラウザを使って映像アダプタに関する設定を行います。本商品に接続したパソコンのWebブラウザでログインし、データ設定を行うことができます。

画面はWindows Vistaの例です。

なお、Webブラウザを使って映像アダプタに関する設定ができるのは、パソコンを接続している場合のみです。

本書ではInternet Explorer 7の画面イメージで説明しています。

1 本商品に接続したパソコンでWebブラウザを起動します

2 Webブラウザのアドレス欄に「10.0.0.1」と入力し、[Enter]キーを押します

本商品のIPアドレスの初期値は「10.0.0.1」です。



3 ユーザー名／パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします

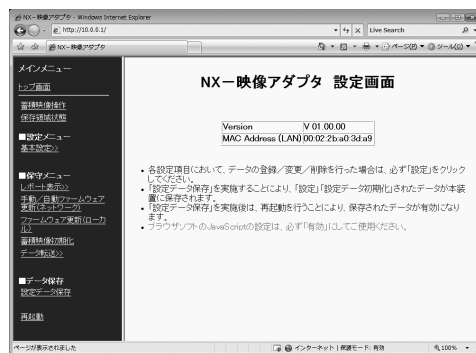
お買い求め時のユーザー名は「user」です。
お買い求め時のパスワードは設定されていません。
空欄のままにしてください。
ユーザー名、パスワードは変更することができます。
(P30)



4 メインメニューが表示されます

左側のメニューから項目をクリックして、データ設定または保守画面へ移動することができます。

設定を変更し有効にするためには、メニューのデータ保存より「設定データ保存」を行い、本商品を[再起動]してください。



お知らせ

- [設定データ保存]をクリックする前に再起動したり、停電があった場合、設定データは最後に保存された値になります。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。

映像アダプタメニュー一覧

大項目	中項目	説明	参照ページ
トップ画面		バージョン情報、MAC アドレスを表示します。	—
蓄積映像操作		蓄積映像の保護／保護解除／消去を行います。	●P31
保存領域状態		映像アダプタの記憶領域容量の状況を表示します。	●P32
■設定メニュー			
基本設定	ユーザ用 ID /パスワード 設定	ユーザ用 ID、パスワードを設定します。	●P30
■保守メニュー			
レポート表示	状態表示	バージョン情報、主装置登録状態、動作状態、MAC アドレス、ネットワーク設定を表示します。	●P33
	状態ログ表示	状態ログを表示します。	●P34
	動作ログ表示	動作ログを表示します。	●P35
手動／自動ファームウェア更新（ネットワーク）	自動ファームウェア更新 状態表示	自動ファームウェア更新チェック状況を表示します。	—
	手動ファームウェア更新	手動ファームウェア更新チェック状況を表示します。	●P36
ファームウェア更新（ローカル）		ローカルバージョンアップを実行します。	●P37
蓄積映像初期化		映像アダプタに保存されている蓄積映像を初期化します。	●P38
データ転送	状態ログダウンロード (装置→PC)	状態ログのデータを保存します。	●P39
	動作ログダウンロード (装置→PC)	動作ログのデータを保存します。	●P40
■データ保存			
設定データ保存		設定内容の変更を映像アダプタに保存します。	—
再起動		映像アダプタを再起動します。	●P41

ユーザ用ID／パスワードを設定するには

本商品のWebブラウザ画面にログインするためのログインIDとパスワードを設定します。

- 1 「ユーザ用ID／パスワード」画面を表示するには、メニューの「基本設定」－「ユーザ用ID／パスワード設定」をクリックします



- 2 下記の内容に従い、ユーザ用ID／パスワードの設定を行います

項番	名称	説明	設定範囲	初期値
①	ログインID	現在設定されているログインIDが表示されます。	—	user
②	新しいログインID	新しく設定するログインIDを入力します。	最大16文字(半角文字) (A~Z、a~z、0~9、-、/、_)	user
③	新しいパスワード	新しく設定するパスワードを入力します。	最大16文字(半角文字) (A~Z、a~z、0~9、-、/、_)	—
④	新しいパスワードの確認	確認のため新しいパスワードを再入力します。	最大16文字(半角文字) (A~Z、a~z、0~9、-、/、_)	—

- 3 「設定」ボタンをクリックします



お知らせ

- ログインIDとパスワードは、16文字以内で設定してください。
- お買い求め時は、「ログインID」の初期値は「user」です。「パスワード」の初期値はありません。
- 設定をクリックしたときに、「同じログインIDが工事者用アカウントで使用されています。」と表示された場合は、別のログインIDを設定しなおしてください。

蓄積映像を操作するには

映像アダプタに蓄積された映像の保護／保護解除、消去を行います。

映像を保護／保護解除する

映像アダプタに保存されている映像を削除されないように保護したり、映像の保護を解除することができます。

1 メニューより【蓄積映像操作】をクリックします

2 保護／保護解除を行う映像を選択します

3 【保護】または【保護解除】をクリックします



映像を消去する

映像アダプタに保存されている映像を消去します。

1 メニューより【蓄積映像操作】をクリックします

2 削除する映像を選択します

3 【消去】をクリックします



お知らせ

- 消去中には本商品の電源を切らないでください。また、消去が終了するまでブラウザを操作しないでください。



ワンポイント

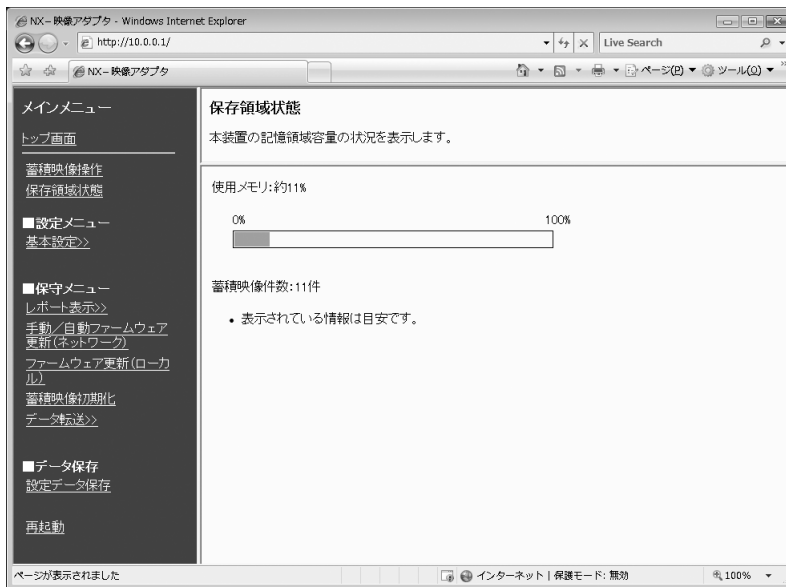
- 蓄積映像をすべて消去するには
画面下の【OK】をクリックします。保護された映像は消去されません。

保存領域の状態を確認するには

映像アダプタの記憶領域の空き容量を確認します。

1 メニューより [保存領域状態] をクリックします

2 記憶領域の容量を確認します



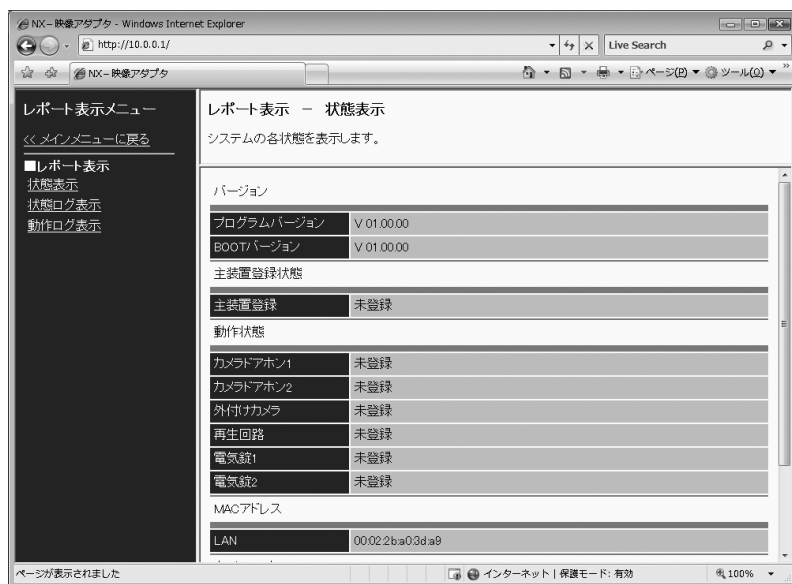
現在の状態を確認するには

映像アダプタのバージョンや、主装置登録状態、動作の状態、MACアドレスなどを確認します。

1 メニューの【保守メニュー】より【レポート表示】をクリックします

2 【状態表示】をクリックします

3 情報を確認します



現在の状態を確認するには
保存領域の状態を確認するには

状態のログを確認するには

状態のログを画面で確認できます。

1 メニューの【保守メニュー】より【レポート表示】をクリックします

2 【状態ログ表示】をクリックします

3 状態ログを確認します



ワンポイント

- 状態のログを消去するには
【クリア】をクリックします。

動作のログを確認するには

動作のログを画面で確認できます。

1 メニューの【保守メニュー】より【レポート表示】をクリックします

2 【動作ログ表示】をクリックします

3 動作ログを確認します



ワンポイント

- 動作のログを消去するには
【クリア】をクリックします。

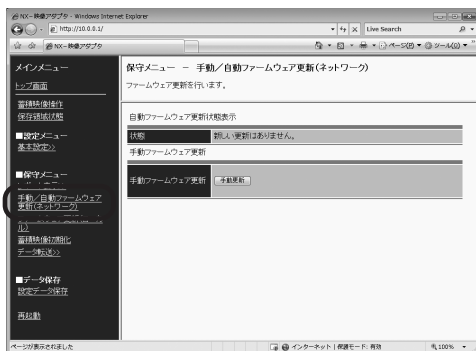
Webブラウザから手動で更新するには

Webブラウザの設定画面から手動でファームウェアを更新することができます。

1 Webブラウザを起動してメインメニューを表示します

「映像アダプタ設定を行うには」(P28)の手順1～3を行い、メインメニューを表示します。

2 [保守メニュー]の[手動/自動ファームウェア更新(ネットワーク)]をクリックします



3 [手動ファームウェア更新]の[手動更新]をクリックします

4 [最新状態表示]をクリックします。 表示されるWebブラウザ画面に従い、ファームウェア更新の操作を行います

状態に「実行処理中です。」と表示された場合は、しばらく待ったあと、[最新状態表示]をクリックしてください。

状態に「新しい更新があります。」と表示されたら、[ダウンロード]をクリックします。ダウンロードには時間がかかります。しばらく待ってから操作をしてください。

最新のファームウェアがない場合は「新しい更新はありません。」と表示されます。これ以降の操作は、必要ありません。

5 [最新状態表示]をクリックし、本商品のメインメニューが表示されたら[保守メニュー]の[手動/自動ファームウェア更新(ネットワーク)]をクリックします。「ファームウェアのダウンロードが完了しました。再起動を行ってください。」と表示されたら、[再起動]をクリックします

6 「再起動を行います。よろしいですか?」と表示されたら[OK]をクリックします

7 確認メッセージに対して[OK]ボタンをクリックします

本商品が再起動します。

ワンポイント

- 再起動を中止するには
手順6、7で[キャンセル]をクリックします。

お知らせ

- 通話中に再起動を行うと通話が切断されます。
- 再起動が完了するまで約1分かかります。再起動が完了するまでサービスはご利用になれません。

ローカルでファームウェアを更新するには

パソコン上のファームウェアを使用して、Webブラウザの設定画面からファームウェアを更新することができます。

1 Webブラウザを起動してメインメニューを表示します

「映像アダプタ設定を行うには」(P28)の手順1～3を行い、メインメニューを表示します。

2 【保守メニュー】の【ファームウェア更新(ローカル)】をクリックします



3 【参照】をクリックし、パソコン上のファームウェアを選択します

4 【送信開始】をクリックします

5 「ファームウェア更新を行います。よろしいですか?」と表示されたら【OK】をクリックします

6 「ファームウェアの更新が終了しました。更新を有効にするには再起動を行ってください。」と表示されたら【再起動】をクリックします

蓄積映像の全初期化を行うには

映像アダプタに蓄積した映像を初期化します。保護された映像もすべて消去されます。

1 メニューの【保守メニュー】より【蓄積映像初期化】をクリックします

2 【OK】をクリックします



お知らせ

- 映像の削除には時間がかかることがあります。
- 映像の削除実行中は、映像の自動保存と手動保存に遅延が発生します。
- 映像の削除実行中の映像再生操作は、「他者使用中です。しばらくお待ちください」と表示されます。
- 消去中には本商品の電源を切らないでください。また、消去が終了するまでブラウザを操作しないでください。

状態ログをダウンロードするには

状態ログデータを映像アダプタからパソコンへ転送します。

- 1 メニューの【保守メニュー】より【データ転送】をクリックします
- 2 データ転送メニューの【状態ログダウンロード（装置→PC）】をクリックします
- 3 【状態ログダウンロード】をクリックし、ファイル名を入力して【保存】をクリックします



動作ログをダウンロードするには

動作ログデータを映像アダプタからパソコンへ転送します。

- 1 メニューの【保守メニュー】より【データ転送】をクリックします
- 2 データ転送メニューの【動作ログダウンロード（装置→PC）】をクリックします
- 3 【動作ログダウンロード】をクリックし、ファイル名を入力して【保存】をクリックします



再起動を行うには

本商品の設定を変更したあとに再起動を行うことで、設定内容を反映することができます。

1 メニューの【保守メニュー】より【再起動】をクリックします

再起動の確認画面が表示されます。



2 【OK】 ボタンをクリックします

【OK】 ボタンをクリックすると、「通信中の呼が切断されます。再起動しますか?」という確認メッセージが表示されます。

3 確認メッセージに対して【OK】 ボタンをクリックします

本商品が再起動されます。



ワンポイント

- 再起動を中止するには
手順2、3で【キャンセル】をクリックします。



お知らせ

- 通話中に再起動を行うと通話が切断されます。
- 再起動が完了するまで約1分かかります。再起動が完了するまでサービスはご利用になれません。
- 再起動後、Webブラウザからの保守を行う場合には、1分以上経過後に行ってください。

停電になったときは

本商品は、停電時に使用することはできません。また、以下のことにご注意ください。

●映像が保存されない場合があります。

通話中、または通話終了直後に停電した場合、録画データは保存されない場合があります。

映像アダプタをお買い求めのときの状態に戻すには

お使いの映像アダプタを廃棄、譲渡、または返却するときは、次の操作を行って映像アダプタをお買い求め時の状態に戻してください。

- 1 映像アダプタの電源コードのプラグを抜いて、電源を切ります
- 2 初期化スイッチ (●P15) を押しながら、電源コードのプラグを電源コンセントに差し込み、電源を入れます
- 3 映像アダプタのLANランプ以外のすべてのランプが点灯するまで、初期化スイッチを押し続けます

LANランプ以外のすべてのランプが点灯したら、初期化が始まります。
初期化開始後、BUSYランプ消灯により初期化完了となります。



お願い

- 本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定した情報や録画した映像を消去してください。
- お買い求め時の状態に戻した場合は、保存映像も全て消去され本商品の機能がご利用できなくなります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼する前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
POWERランプが点灯しない	電源コードが正しく接続されていない	電源コードがきちんと接続されているか確認してください。接続されている場合は、テーブルタップなどに電源が供給されているか、ほかの電気製品などで確認してください。	—
LANランプが点灯しない	配線が間違っている	LANケーブルがきちんとLANポートに接続されていることを確認してください。	●P17
映像が表示できる電話機にカメラドアホンの映像が表示されない	配線が間違っている	当社のお問い合わせ窓口へお問い合わせください。	●P17
	主装置のカメラドアホンの設定が間違っている	当社のお問い合わせ窓口へお問い合わせください。	●P17
Webブラウザで映像アダプタにログインできない	ユーザ名/パスワードが間違っている	正しいユーザ名（お買い求め時：user）とパスワード（お買い求め時：なし）を入力してください。 ※ユーザ名とパスワードは忘れないようにメモして安全な場所に保管してください。お忘れになった場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。本商品を初期化（●P43）した場合、ユーザ名とパスワードはお買い求め時の設定に初期化されますが、保存映像も全て初期化され本商品の機能がご利用できなくなります。	—
	パスワードを設定したあと、設定保存をしていない	パスワードを変更したときは、必ず「設定データ保存」を行ってください。この操作を忘れると、再起動したあとや、本商品の電源を入れ直したあとに、元のパスワードに戻ってしまいます。	●P28、30
Webブラウザで変更したとおりに動作しない	Webブラウザの適切なバージョンをインストールしていない	Webブラウザのバージョンを確認してください。古いバージョンをお使いの場合は新しいバージョンをインストールしてください。	—
	本商品の設定反映後、設定保存していない	設定を変更したときは、「設定データ保存」を必ず行ってください。	●P28
FOMAへ転送できない	主装置のドアホン転送の設定が間違っている	主装置のシステム設定を正しく設定してください。それでも改善しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。	—
ALARMランプが赤点灯または赤点滅している	本商品に異常が発生した	本商品の電源を入れ直してください。それでも改善しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。	—
通話が途切れるまたは、ほとんど聞こえない	周囲の音が大きい	自分の周囲または通話相手の周囲で、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていると、通話が途切れることがあります。	—

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
カメラドアホンの電源ランプが点灯しない	配線が間違っている	当社のお問い合わせ窓口へお問い合わせください。	▶P17
モニタ中の映像がちらついて見える	映像保存中やボタン操作（カメラドアホンの場合）の際にちらつくことがあります	故障ではありません。	—
カメラドアホン2台で話せない	カメラドアホン2台で同時に話すことができない	カメラドアホンを2台設置しているときは1台のカメラドアホンでお話し中の場合は、もう1台のカメラドアホンから呼び出すことはできません。また、1台のカメラドアホンでお話し中の場合は、カメラドアホンを呼び出すことはできません。	—
カメラドアホンと外付けカメラを同時に利用できない	カメラドアホンと外付けカメラを同時に利用できない	カメラドアホン2系統、外付けカメラ1系統の内、一度に利用できるのは1系統のみです	—
新たな映像を保存できない	映像アダプタに新たな映像を保存できない	映像データの記憶容量が上限に達している可能性があります。不要データを削除してください。	—
映像アダプタがあたたかい	内部に発熱するところがあるため、多少温度が上がる	故障ではありません。	—

アルファベット

A_IN (セキュリティ装置接点入力端子)	15
ALARMランプ	15、16
BUSYランプ	15、16
CD1/CD2接続端子	15
FG端子	15
FOMA	
FOMAで操作するための準備	18
ドアホンからの呼び出しに応答する	20
ID認識用ロータリースイッチ	15
INFOランプ	15、16
INIT (初期化スイッチ)	15
KEY1/KEY2接続端子	15、20
POWERランプ	15、16
LANポート	15
LANポートが足りないとき	17
LANランプ	15、16
NTT通信機器お取扱相談センタシール	14
Web設定	28
映像アダプタ設定を行う	28
映像アダプタメニュー一覧	29

五十音

【ア行】

アース線	15、17
映像	
映像の保存について	19
カメラドアホンの映像を確認する	21
保存されている映像を再生/削除する	23
映像アダプタメニュー一覧	29
映像アダプタ本体	14
映像入力端子	15
応答	
遅延応答について	18
ドアホンからの呼び出しに応答する	20
音声入力端子	15

【カ行】

各部の名前とはたらき	15、16
壁掛け用品	14、16
給電HUB	17

更新

ファームウェアを更新する	36、37
故障かな?と思ったら	44

【サ行】

再起動	41
再生	
保存されている映像を再生する	23
削除	
保存されている映像を削除する	25、31
システム概要	11
自動保存	
映像の自動保存について	19
主装置	11
本商品を主装置に接続する	17
仕様	48
状態表示	33
状態ログ	34
初期化スイッチ	15、43
据え置き台	14
接続	
本商品にカメラドアホンを接続する	17
本商品を主装置に接続する	17
設置	
設定	
Web設定を行う	28
保存する	28
セットの確認	14

【タ行】

遅延応答	18
ドアホンからの呼び出しに応答する	20
停電	42
電話機	11
電源コード	15
ドアホンからの呼び出しに 応答する	20
ドアホンの映像を見る	21
動作ログ	35

【ハ行】

パソコン

映像アダプタ設定を行う28

発信

カメラドアホンに発信して外の様子を確認する
.....21

ひかり電話対応機器11

ファームウェアバージョンアップ36、37

付属品14

保守サービス49

保証書14

【ヤ行】

ユーザ用ID／パスワード設定30

【ラ行】

ランプ表示16

ログ

状態のログを確認する34

動作のログを確認する35

項 目		内 容
カメラドアホン	接続カメラドアホン	C-CDH2/C-CDH
	ポート数	2ポート (同時通話不可) ※1
	接続コネクタ	スクリューレス端子台
外部カメラ入力	インタフェース	NTSC入力 ※1
	コネクタ	RCA端子 (黄色)
外部音声入力	インタフェース	モノラル入力
	コネクタ	RCA端子 (白色)
電気錠	インタフェース	JEMA対応 (CGM:3端子) 2ポート
	接続コネクタ	スクリューレス端子台
外部入力	インタフェース	A接点入力 1ポート (セキュリティ装置接続用)
	接続コネクタ	スクリューレス端子台
LAN	インタフェース	IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX オートネゴシエーション、Auto MDI/MDI-X対応
	ポート数	1ポート
	通信速度	10M/100Mbps
	接続コネクタ	RJ45 (8ピンモジュラジャック)
マンマシンI/F	LED	POWER (緑),ALARM (赤),INFO (緑),LAN (橙/緑),BUSY (緑)
	スイッチ	ID認識用ロータリースイッチ 2個
		初期化スイッチ
画像圧縮	動画	MPEG-4
VoIP	音声符号化	G.711 (μ Law)
消費電力		最大12W
電源		AC100V \pm 10% 50/60Hz
電源コード		白色 約2.5m
筐体色		白
VCCI		A種
装置サイズ		260mm (W) \times 172mm (D) \times 54mm (H)
装置重量		約1Kg
使用環境	温度	5 $^{\circ}$ C \sim 35 $^{\circ}$ C
	湿度	45% \sim 80% (結露のないこと)

※1：映像・音声処理回路は、1回路です。同時使用は出来ません。

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたします。「保証書」は本商品に添付されています。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。（修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

●故障の場合

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先：☎0120-248995

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後7年間保有しております。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9：00～21：00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。



©2008 NTTEAST・NTTWEST

本3004-1(2008.10)
NX-VADPトリセツ-〈1〉

4396060500 | H01